

大人の甘い判断が

夕方のニュースを見ていた私に衝撃が走りました。あつてはならない事故が起きてしまいました。大人の甘い判断が、幼い子どもの命を奪ってしまったのです。

昨日午後三時半ごろ、千葉県で、下校途中の小学生の列に、大型トラックが突っ込み、児童二人が死亡、三人が重傷を負いました。児童たちは道路の右側を列を作って歩いていました。そこに、電柱にぶつかつた大型トラックが、勢い余つて児童の列に突っ込んだようです。

児童たちに何の落ち度もありません。道路の右側を歩いていただけです。それなのに、大型トラックが……。この状況を想像するだけで、遠く離れた岐阜県にいる私でさえ、大きな怒りがこみ上げてきます。ある日突然、愛する我が子を失ってしまった保護者の悲しみや悔しさは、とてつもなく大きなものでしょう。対岸の火事で済ますことはできません。

憎むべきは、アルコールが入つた状態で車を運転した大人の甘い判断です。理屈ではいけないこととわかつていても、実際には正しい判断ができない大人が、将来ある子どもも供の命を奪つてしまいました。そういう大人は必ずいます。同じ大人として恥ずかしいことですが、その現実を子どもにも理解させないと彼らの命を守れないような気がします。

「校長先生、毎朝大変ですね。」

私はよくこんな言葉をかけていただきます。「子どもたちとあいさつを交わしたり元気に登校する様子を見たりするのは楽しいですからね」などと答えてはいますが、正直言って、それ以外の理由があります。それは大人が信じられない部分をもつていて、それによる犠牲者を出したくないということです。

生徒の皆さんの横断の仕方を見てみると、「多分（車は）止まってくれるだろう」的な横断の仕方をする人が多いようです。それが怖いのです。確かに、横断者がいる時には、車は止まらなければなりません。しかし、止まらない車は確実にいます。最近気になるのは、携帯を手にしていたり、下を見ていたりして運転している大人です。「多分止まってくれるだろう」と思つて渡ると、止まらず突っ込んでくる現実が待っている可能性があります。

学校は「仲間を信じて」ということを大切にするところですが、命を守るためには「大人を信じすぎるな」と言わざるを得ないようです。子どもの命を守るためには、大人として恥ずかしいなどと言つていられませんか。大人にも甘い判断があり、それから自分を守ることが大切であること。そして、生徒の皆さんも、やがては大人になるので、甘い判断をしない人間になるべきということを今から考えてほしいと願っています。